



## 気象庁研究時報56巻2号の内容案内

気象庁研究時報56巻2号が平成16年10月8日に発行されましたので内容（表題：著者：ページ：要旨）についてお知らせいたします。

なお、気象庁研究時報は気象業務支援センター（Tel：03-5281-0440, Fax：03-5281-0443, URL：<http://www.jmbc.or.jp>）から購入できます。

◇大気中立層内で発現する晴天乱気流—沈降する寒気により発現した事例—：庄司 桂一郎：P41-53

小さい鉛直風シャワー（VS）の領域で発現した晴天乱気流（CAT）の発現原因について調査を実施した。高層実況値、衛星画像とMUレーダ（京都大学生存圏研究所施設）の観測値を用いCATの発現位置を解析し

た結果、CATは中立層内のVSが小さい領域で発現したことが確認できた。さらに、気象庁の非静力学モデルによる解析を行い、沈降する寒気直下に上層雲が進入したことにより、上層雲の雲頂付近で成層が不安定化したとの推定を得た。

◇2000年9月11日～12日の東海豪雨時における愛知県西部周辺の強雨について：森岩 聰・渡辺 真二・窪田 邦晃・中條屋 博・辻川 才太・木下 信好：P55-69

（要旨省略）

（気象庁総務部企画課図書資料管理室）